



2014 年 7 月 30 日

在日ドイツ連邦共和国大使館公用車として BMW i3 を納車

ビー・エム・ダブリュー株式会社(代表取締役社長: ペーター・クロンシュナーブル)は、BMW 初の電気自動車(EV)「BMW i3(アイ・スリー)」を一台、在日ドイツ連邦共和国大使館の公用車として納車した。

納車した BMW i3 の仕様はバッテリー駆動のみの標準車で、内装のグレードが LOFT(ロフト)。大使館公用車として主に都内のモビリティに使用される予定。バッテリー駆動のため大使館員にとっては CO₂ 排出量がゼロの移動手段となる。メガシティ・ビークルとして開発された同車にとりまさに相応しい活躍の場が提供されたことになる。日々の充電は大使館敷地内に設置されたオプション設定の普通充電器、「Wallbox(ウォールボックス)」で行われる。

BMW による近年の在日ドイツ大使館公用車納車実績は以下の通り;

- 2009 年に BMW 740i、BMW 525i セダン、BMW 525i ツーリングを納車
- 2010 年に BMW 740i に替わり BMW ActiveHybrid 7 L を納車。
- 2012 年に 2009 年に納車の BMW 525i セダンに替わり BMW ActiveHybrid 5 を、BMW 525i ツーリングに替わり BMW 523i ツーリングを納車。
- 2013 年に大使公用車の BMW ActiveHybrid 7 L に替わり同モデルの新型を納車。

BMW i3 について

大都市圏向けのクルマとして専用設計された電気自動車であり、一回の充電で、約 160km までの走行が可能である。走行モードを ECO PRO(エコ・プロ)モードにする事により約 180km、ECO PRO+(プラス)にする事により約 200km まで航続距離を延ばす事が可能(実用走行を想定した BMW 社内基準)であり、レンジ・エクステンダー(発電用エンジン)搭載モデルにおいては、航続距離を約 300km まで延ばす事が可能である。日本仕様の BMW i3 は CHAdeMO(チャデモ)方式の急速充電に対応し、急速充電の利用により、約 30 分で 80%充電が可能となる。通常使用する自宅や勤務先での普通充電の場合は、約 8 時間で満充電となる。車両寸法は日本の機械式駐車場の利用が可能となるよう、全幅 1,775mm、全高 1,550mm を実現している。

この件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先は、
BMW カスタマー・インタラクション・センター: フリーダイヤル 0120-269-437 を
ご掲載ください。

受付時間: 9:00-20:00 年中無休

BMW インターネット・ウェブサイト: <http://www.bmw.co.jp>

この件に関する報道関係者のお問い合わせは:

BMW Japan Corp. 広報室: 03-6259-8025(企業広報)